

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和2年度

1 基本情報

公の施設名	相模原市立あじさい会館(南分室・緑分室含む)
指定管理者名	社会福祉法人相模原市社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
施設設置条例	相模原市立市民福祉会館条例
施設の設置目的	社会福祉の総合的な推進及び社会福祉活動の育成発展を図り、もって市民福祉の増進に資するため
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ●あじさい会館(中央区富士見6-1-20) ホール、講習室、大和室、第1和室、第2和室、第3和室、ボランティア活動室、談話室、第1展示室、第2展示室 ●あじさい会館南分室(南区相模大野6-22-1 南保健福祉センター内) 高齢者交流室、談話室、情報交換ルーム、ボランティア活動室 ●あじさい会館緑分室(緑区西橋本5-3-21 緑区合同庁舎内) 高齢者交流室、談話室、情報交換ルーム、ボランティア活動室
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課

2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人) (あじさい会館)	151,654	147,195	128,499	44,101			
貸館率(%) (あじさい会館)	49.4	47.4	49.4	41.5			
利用者数合計(人) (あじさい会館南分室)	20,220	20,806	17,280	6,729			
貸館率(%) (あじさい会館南分室)	45.5	48.2	44.1	38.6			
利用者数合計(人) (あじさい会館緑分室)	13,725	16,617	15,301	5,261			
貸館率(%) (あじさい会館緑分室)	34.7	39.6	42.5	31.1			
利用料金合計(円)	13,914,166	15,166,119	12,410,750	4,977,584			

※令和2年度 新型コロナウイルス感染症拡大防止のために施設の利用を休止した期間
令和2年4月1日～7月9日、令和3年1月13日～3月21日 計168日間

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
B	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による施設利用の中止や利用自粛があったため、実際の利用回数をもとに推計の実績値を算出した結果、前年度並みの数値だったことは評価できる。また、施設において感染者が発生しなかったことは安全な管理運営ができていたものと考えられる。引き続き、利用者の安全を守ることを最優先に、感染症拡大防止対策を実施しながら施設の運営に努めていただきたい。</p> <p>※令和2年度の委員会における「新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館の影響を考慮した成果指標の算出方法の検討が必要」との意見を踏まえ、令和2年度の実績値は開館日数に応じた数値を算出した。</p> <p>1,137回(実際の利用回数)×358日(条例上の開館日数)÷190日(R2年度の開館日数)=2,142回 ・「条例上の開館日数」は年末年始7日間の休館日を除いた日数 ・「R2年度の開館日数」は条例上の開館日数358日からコロナの影響による施設の利用休止期間168日間を除いた日数</p>

指標	
指標名(単位)	福祉団体の利用回数(単位:回)(南分室及び緑分室を除く)
指標式と指標の説明	福祉利用施設の利用回数+福祉団体の一般利用施設の利用回数 あじさい会館を拠点とした福祉活動の推進利用状況を評価するための指標

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(回)	2,140	2,150	2,310	2,320	2,330	2,340	2,350
実績値(回)	2,324	2,100	2,223	※ 2,142			
達成度(%)	108.6%	97.7%	96.2%	92.3%	0.0%	0.0%	0.0%

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの事業を中止せざるを得ない状況ではあったが、このような状況においても、インターネット等を活用し、感染リスクのない「あじさい会館の日」イベント事業を実施したことについては評価できる。今後も、感染症拡大防止対策を踏まえ、施設の活性化や福祉の啓発活動等につながるような事業の実施に取り組んでいただきたい。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
なし			

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
なし			

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
「あじさい会館の日」イベント	9月	・世界アルツハイマー普及啓発事業の実施 NPO法人と協働で、認知症理解促進を目的とした講演会を実施。講演会は「助けられ王国さがみはらホームページ」及びYoutube公式ページで動画配信し、令和2年9月18日より現在に至るまで公開中。またJCOMIによる放送（放送日9月14日～9月30日の月・水・金の8日間に60秒間告知放送）やFMさがみ特別番組として「助けられ王国さがみはら2020」（放送日9月21日13時～16時）により福祉団体の活動やあじさい会館の紹介などを行った。	◎
コピー展示	通年	福祉団体の作品展、NPO団体等の活動紹介パネル展、ボランティア活動等啓発パネル展、介護写真展等をコピーで実施した。	○

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	利用者満足度調査については、前年度と比較し、実績値が0.6%減少したが、達成度は107.6%と高い水準にあり、評価できる。特に、職員の接客に対する満足度は高く、丁寧な対応を心掛けていることは非常に評価できる。引き続き、サービスの向上に努めるとともに、利用者の意見・要望に耳を傾け、満足度の向上に努めていただきたい。

利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	利用者へのアンケート調査を実施 時期:令和2年12月1日～令和3年1月7日 回答者数:1,216人
目標値の基準	総合的な満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値 (%)	97.0	96.3	97.4	96.8			
達成度 (%)	107.8%	107.0%	108.2%	107.6%	0.0%	0.0%	0.0%

その他の取組

取組事項	時期	取組内容
アンケートBOX	通年	館内施設入口にアンケート用紙及び回収箱を設置し、施設の利用、案内表示、職員の対応等について調査している。

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
B	新型コロナウイルス感染症の影響により利用料収入が大幅に減少したが、市からの協力金・補助金の交付により全体の収入は前年度に比べ1%の減少となった。支出については、前年度に比べ減少しているが、収入を上回っており、財務状況の黒字化が求められる。

施設の収支概要		※直近3年間について記載 (千円)		
項目		平成30年度	令和元年度	令和2年度
収入 (a)		105,115	105,731	104,902
指定管理料		89,263	92,090	93,036
利用料金収入		15,166	13,004	4,978
その他の収入		686	637	6,888
支出 (b)		106,511	111,458	110,581
人件費		25,781	25,847	24,207
本社管理経費		0	0	0
その他の支出		80,730	85,611	86,374
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)		-1,396	-5,727	-5,679
自主事業収入 (d)		445	346	0
自主事業支出 (e)		743	749	79
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)		-298	-403	-79
全体収支 【(c)+(f)】		-1,694	-6,130	-5,758
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入の減額は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う施設の利用休止・利用制限等が影響したもの。 ・その他収入の増額は、市から協力金5,600千円、コロナ対策補助金650千円が交付されたもの。 ・その他支出の増額は、主に、コロナ対策補助金650千円で購入した消耗品等の支出によるもの。 ・自主事業収支の減額は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどの事業を中止したため。 			

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和2年9月9日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	加点事由あり(下記のとおり)
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	
有	現金管理において、1日に複数回金額確認をしており、適正かつ厳重な管理が行われていることから加点するもの。	

8 指定管理者の自己評価

令和2年度においても施設利用者である多くの市民の方々からは「満足」、「やや満足」との評価をいただいた。

特に昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による生活困窮者に対する経済支援策等に関する相談や利用申請等を目的とした来館者や問い合わせの電話が大幅に増える中、受付・警備スタッフを中心に、当該支援策等の情報を共有し、対応する関係各課等の窓口や連絡先等の適切な案内に務めた。今後も受付、警備、清掃、設備管理、舞台操作等各セクションが連携を図り、利用者の利便性及び快適性の向上に努めたい。

利用施設の改善については、老朽化による破損、汚損が著しかったあじさい会館6階の第1・2展示室のドア及びテーブル・机の修繕、更新、また新型コロナウイルス感染症予防対策として、トイレのドアの開閉を手を使わず足で行える把手の取り付け等により利用者の快適性及び安全性の向上に努めた。

9 所管課意見

・前年度に続き、利用者満足度調査において、「満足」と「やや満足」の回答が95%以上もあることは高く評価できる。今後も、利用者の要望等に応えるとともに、指定管理者の自主的な取り組みによる満足度の向上に期待する。

・今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、施設の利用休止期間が長かったこともあり、前年度に比べ、大幅に利用者数や利用料金収入が減少してしまったが、市のコロナ対策事業補助金を活用し、消毒液等の感染対策に係る物品の購入や施設修繕を行うなど、感染症拡大防止対策に取り組んでおり、施設において新型コロナウイルスの感染者が発生しなかったことは、安全な管理運営ができていたものと考えられる。

・今後も、利用者が安心して利用できる施設として、安全面を確保したうえで、様々な自主事業を実施するなど、福祉の啓発や施設の活性化につながるような取り組みを進めていただきたい。

10 選考委員会意見

・成果指標については、目標値を達成するために、施設利用の促進、施設PRなどの周知活動に取り組んでいただきたい。

・前年度に続き、利用者満足度調査において、利用者の満足度が高いことは評価できる。今後も利用者が気持ちよく施設を利用できるように接遇等の向上に努めていただきたい。

・利用者の要望を受け、和式トイレの洋式化を進めており、さらに、足で開閉できる把手をトイレのドアに取り付けるなど、高齢者及び障害者等の安全性・快適性を向上させていることは評価できる。

・施設修繕の実施については、令和3年3月に実施した修繕費が令和2年度修繕費全体の66.3%を占めている。指定管理者制度の目的の一つに年度末予算消化を是正することもあると思われるので、緊急性のある場合を除いて、修繕は計画的に実施するべきである。

・利用者アンケートにおいて、様々な要望・意見があるが、部屋の予約（申請）方法について、現状の予約方法が不便であるという意見も寄せられているため、利便性の良い予約方法を検討していただきたい。

・利用者アンケートにおいて、Wi-Fiに関する意見があった。あじさい会館、南分室、緑分室によってWi-Fiの設置状況は異なっているが、コロナ禍の市民活動においては必須の設備となると考える。Wi-Fiの導入、増設について前向きに検討していただきたい。

・施設の収支については、適切な収支となるよう改善を図っていただきたい。

・今後も、利用者が安心・安全に利用できる施設として、感染症拡大防止対策を十分に取ったうえで、適切な施設運営に努めていただきたい。

総合評価（自動判定）

